

帰還に向けた条件について（論点）

【今後の審議の進め方について（平成24年10月16日第3回委員会）】

- ・ 帰還するためにどのような条件が必要か（例：福島第1原発廃炉作業の安全性、放射性物質の除去の程度、インフラ・ライフラインの復旧）

1. 帰還ができるようになるためには、何がどの程度まで改善されている必要があると考えるか

例えば、

- ・ 放射性物質の除去の程度について、どの程度まで空間放射線量が下がればよいか
- ・ 原子力発電所の廃炉措置の安全性の確保状況をどのように捉えたらよいか
- ・ インフラ・ライフラインの復旧にどれくらいの時間がかかると考えればよいか
- ・ 帰還する際に、住宅をどのように再建していくか

【ふるさと再建部会資料 3-1、3-2、3-3

双葉町の線量分布（平成24年3月31日時点）

双葉町の空間線量率の予測（2012年3月末～2032年3月末）

航空機モニタリングの結果（地表面から1m高さの空間線量率）】

【ふるさと再建部会資料 4：「7000人の復興会議」における帰還に向けた条件に関する町民の意見・提案】